

学習内容報告書 フォーマット

学校名	備前市立日生西小学校
授業者	藤木謙壮

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

日生の魅力を発信しよう

1-2. 学年

6年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

- 1学期、2学期を通して見つけた地域の魅力を、日生を訪れた観光客にPRする。
- 日生を訪れる観光客はどういったことを楽しみに来ているのだろうか？
  - ・備前観光協会に尋ねる
  - ・集めた情報をもとに、どのようにして魅力を伝えるかを考える



1-5. 単元設定の理由・ねらい

- ・1学期や2学期を通してたくさんの地域の魅力を見つけてきた。自分たちで見つけた地域の魅力を誰かに伝える時に、伝える相手を意識することで、何をどのように使ってPRするのかを考えることとした。
- ・PRの方法は、児童の考えるものをできるだけ採用し、複数のグループに別れて活動することで、意欲の向上を図るとともに、お互いによい点や修正点を指摘し合うことを通して、よりよい内容にしていく。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・観光客の特性（年齢・好み・出身地など）に合わせて、提示する情報を選択することができる。

1-7. 単元の展開（全 時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<p>○校外学習で取材したい地域の魅力や、PRの方法などについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日生諸島</li> <li>・VR、Pepper、牡蠣殻など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備前観光協会のHPを閲覧したり、日常生活で感じた魅力について話し合ったりする</li> </ul>
2 3 4 5	<p>○校外学習を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鴻島、大多府島の映像撮影や島の史跡などの情報を集める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船長に島ごとの特徴を説明してもらう</li> <li>・360°カメラやタブレット端末を使用して、写真撮影をする</li> </ul>
6 7 8 9 10 11	<p>○収集した情報をもとに、PRに使うものを作成する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペッパーで観光案内のプログラムを作成する</li> <li>・VRで見せるために、画像を編集する</li> <li>・牡蠣殻を使った製作物を作成する</li> </ul>	
12	<p>○中間発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当日と同じように説明をし、「説明内容・準備物について」アドバイスしあう</li> <li>・修正活動ですべきことを明確にするための工夫をする（指摘をキーワード化、課題点と対策を並べて書ける用紙）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PepperとVRを使用する</li> </ul> 
13 14 15	<p>○修正活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中間発表で見た課題を修正する</li> </ul>	
16	<p>○最終確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当日と同じように説明をし、「発表の仕方について」アドバイスし合う</li> <li>・最終調整（道具などをまとめるなどの準備）</li> </ul>	
17	<p>○PR活動を行う</p>	

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

観光客に向けた PR 活動のプレ発表を行い、観光客目線から感じた修正点を伝えよう

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>○PR 活動のプレ発表を行う目的を確認する</p> <p>○PR 活動のプレ発表を行う</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ Pepper グループの発表</li><li>・ VR グループの発表</li><li>・ 牡蠣殻を使った製作物グループの発表</li></ul> <p>○プレ発表を通して感じたことを共有する</p> <p>「VR を見ている間に、待ち時間ができる」</p> <p>「VR や Pepper をさわるのが怖い」</p> <p>「説明がよく分からない」</p> <p>○今後の学習の流れを確認する</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 修正活動</li><li>・ 本番に向けた動き</li></ul>	<p>・ 観光客の立場になって違いの発表をみることで、自分たちでは気づかなかったことに気付けるようにする</p> <p>・ 自分がどういう観光客になるか（歴史好き、写真が撮りたいなど）を事前に決め、そういう人がどう感じるのかをメモして伝えるように指示する</p> <p>・ 友達としてではなく、観光客を相手にするように対応する</p> <p>・ 観光客の立場から友達の発表を見たことで、気づいた修正点を伝える</p> <p>・ 伝える際には、改善策も合わせて伝える</p>

### 3. 今回の活動の自己評価

○Pepper や VR、牡蠣殻を使った製作活動という 3つのグループに分かれて活動した。その際に、人数を均等に割るのではなく、子どもたちの興味関心に合わせてグループ作成を行った。また、VR や Pepper、牡蠣殻などを使って何をするのかについても、児童の考えをできる限り実現できるようにした。そうしたことで、「考える」→「やってみる」→「修正する」→「やってみる」というサイクルを子どもたちが回せるようになってきた。考えたことを実行できるという体験を重ねることで、よりアイデアの精度も高まってくることを実感した。

### 4. 今後の課題

○活動の自由度を高めたことで、子どもの意見が多岐にわたり、対立する場面が見られた。目的をふりかえることで、どちらを選択すればよいのかを決めることができたが、こうした社会とつながるような実践を行うと、必ずと言っていいほど問題が発生する。その際に、みんなで話し合っただけで納得解を見つけ出すような練習を日頃から重ねておく必要があると感じた。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

○児童の主体性を大切にしたい。自分たちで考えて活動を進めていくことができるように、ICT環境も含めて、環境を整えていくことで、児童の活動を保障することができるようにしたい。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。